

蔡國華作品展『ドイツ紀行』

『ドイツ紀行』を描く』

『ドイツ紀行』を描く』と題した画集の完成を記念し、7月13日から一週間、作品展が開催されました。



スケッチ旅行に参加された方や、ドイツに思い入れのあるお客様からは、「現地のおみやげで感じるようだ」との感想も聞かれ、ドイツの風包まれた展覧会となりました。



今回制作した画集も、前回の「フランス紀行」同様、日記形式で書かれた旅のエッセイとその英訳が収録されています。絵と文章とでドイツチック街道を旅していただきたいと思えます。



「QCDOC」開催

7月4日(金)、岡山にてQCDOC発表会(キューシードック)が開催されました。当社の組織文化に根ざす形で物事を実施し、その結果、QCDOCの改善に繋がることが重要であることから、昨年度まで別々に実施していた、「QCDOC改善発表会」と「組織文化浸透発表会」を統合し、会の名称も「QCDOC発表会」(QCDOC)と「組織文化」を英語にした「Organizational Culture」の頭文字と改められました。全17チーム、持ち時間は20分。取り組みの背景や成果、今後の目標など、どのチームも大変濃い発表内容で、これまで以上に、チームワークによる成長が感じられました。今回は、発表チームごとに用意した袋に、参加者が鉛で1票を投じる「QCDOC みんなで決めたで賞!」という全員参加型の表彰も行われ、大変な盛り上がりとなりました。



(文・人材部 中村ゆかり)

ヒューマン・フロンティア・フォーラム(HFF)

9月11日から13日、第十一回目のHFFが軽井沢で開催されました。今年も若手企画委員会も立ち上げ、プログラムの一部をゆだねる新布陣で臨みました。2日目のメインとなる話題提供者には医学の分野からガンの免疫治療に取り組むテラ株式会社 矢崎雄一郎さん、ソーシャル時代の農業を展開する久松農園の久松達央さんのお二人を迎えました。若手企画委員会のテーマは「私の『死』と○○」



新しい葬儀の形を追求する鈴吉堂の高橋亮さんからの話題提供もあり、「命を見つめる(医学)、命を見守る(農業)、命を見送る(葬儀)」という流れとなったHFFです。

軽井沢町からも町長の藤巻さんを始めとして5名が参加。シリオンワークショップ代表の奥瓊子さんがハートで築いた地元の人々の輪です。

(HFF事務局)



2015 東京 初個展

秀蓮作品展「ふるさと」

書師秀蓮さんの初めての東京での個展が画空間で行われました。これまで主に京都で活動されていましたが、今回東京での個展が実現しました。「ふるさと」というタイトルには書とともに歩んできた秀蓮さんの想いや願いが込められています。展示された大小様々な作品の中には、帯に書いたもの、風化した洋風の額に納めたものなど、秀蓮さんならではの演出も感じられ、多くの来場者に好評をいただきました。



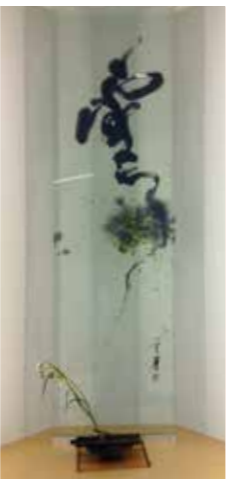
繊細ながらも、温かく強い生命力を感じる作品の数々は、画空間の雰囲気をも変容させてしまいました。



「和空間」の書と絵画

昨2014年、本社の本館2階と東館が改築され、憩いのスペース「和空間(ワクウカン)」が誕生し、社員の休憩場所として、また、小会議や懇親会の場所として活用されています。

その空間に飾られることになったのが、書師である秀蓮さんに書いていただいた「雲」です。透明のアクリル板に転写された「雲」は、向き合っている



潮まつり 優勝

皆さん、やりました! 優勝です!! 7月25日(土)、「第49回おたる潮まつり」の「潮ねりこみ」に北海道事業所を中心に全国の事業所とミツズアートスタジオの協力のもと総勢54名で参加をしました。今年も天候に恵まれた中で、4年目でとうとう悲願の優勝を達成し、見事89団体の中で頂点に立つ事ができました!



努力は報われる、理想は形に出来る、色々な思いが全員の自信に繋がりました。この勢いのまましかし誇る事無く来年は更なる進化を遂げ、二連覇を目指します。

皆様、更なる応援を宜しくお願い致します!

(文・北海道工場 兒玉宏史)



▲優勝旗

愛の書

書師 秀蓮

画空間での個展は、私の新たな一歩となりました。そして、これからさらに新しい山を登ってみたいと思っております。小さい頃から野山を駆け巡り、泥だらけ傷だらけのお転婆でした。7歳から筆を持ち、この書を仕事として15年間、ずっと私の中で、答えが出ない想いがありました。「書は誰でもかける。私の書は、人の役にたつのでしょうか」

そんな中、2年前より震災被害を受けた宮城県女川での書のボランティアのお話をいただき、お一人一人に必要な一文字をそのお話を聞きながら色紙に書かせていただきました。

「前」「心」「花」「空」「愛」...。文字がたとえ同じであっても想いが違うのです。皆さんの書を見て涙を流してくださいました。「仮設を建て、理容院を開いたら飾るからね。」「毎日、この書をおいちゃんと思ってお線香をあげます。」皆さんの愛情と希望をいただいたのは、私の方でした。今、女川には私の書が200枚あります。それは、自分の書は人の役にたつと、教えられた証です。



秀蓮 (しゅうれん) <プロフィール> 福岡生まれ。7歳より筆を持ち、13歳時「秀蓮」の名を授かる。19歳より独学。上海日本総領事館・上海徐匯区・京都東福寺一華院などに作品蔵。題字などを多数手がける。



と「やすらぎ」と読めることもあつてか、見ているだけで「やすらぎます」との声もいただきます。そして、向かいの人材部スペースには、蔡國華さんに描いていただいた大きな蓮の絵が飾られています。明るくのびやかな花の背景には、万葉集の蓮の花にまつわる歌がさりげなくあしらわれています。

(文・人材部 上田哲子)



「ヴェニス 夕照」 蔡國華

Information

2016 年カレンダー制作中です。

毎年ご好評いただいております 12 月から始まる「蔡國華アートカレンダー」を今年も制作中です。
蔡國華氏の選りすぐりの作品を使った 5 枚構成の豪華なカレンダーです。
出来上がり次第、画空間 HP にてご案内いたしますので、どうぞ楽しみに。
※お問合せ・ご注文は「お問合せフォーム」よりお願い致します。

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
<http://www.kurilon.co.jp/>

心が豊かであるために・・・
KURILON Work Shop
<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

画空間ホームページ <http://www.a-kukan.com/>

レイアウト：画空間（近ゆうみ）